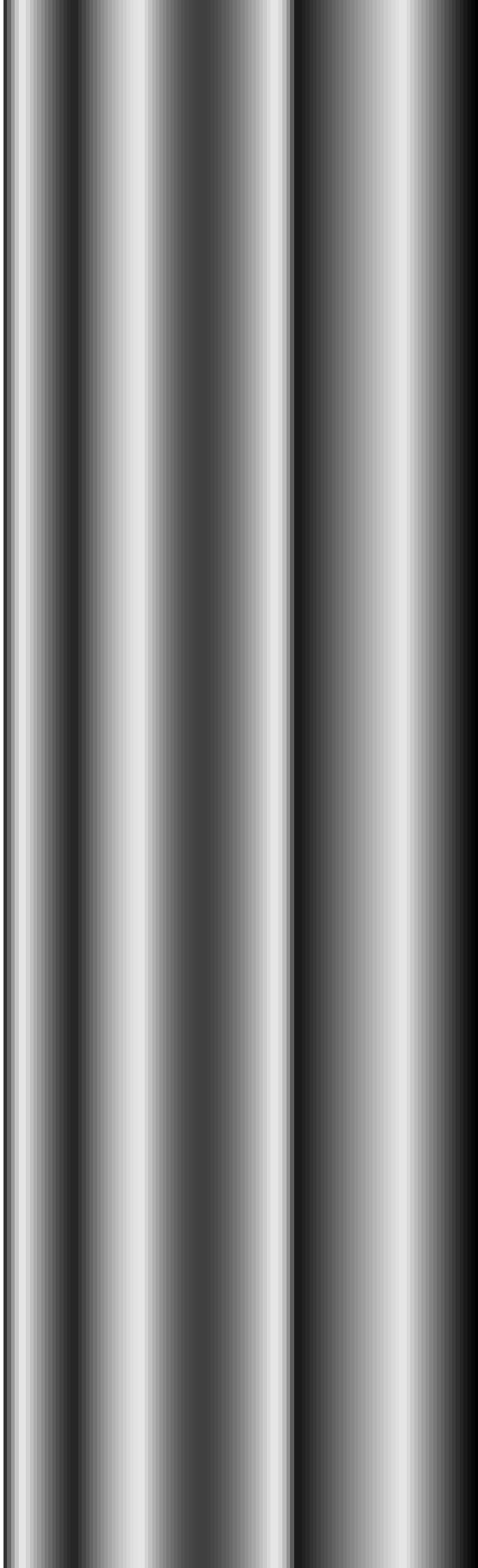
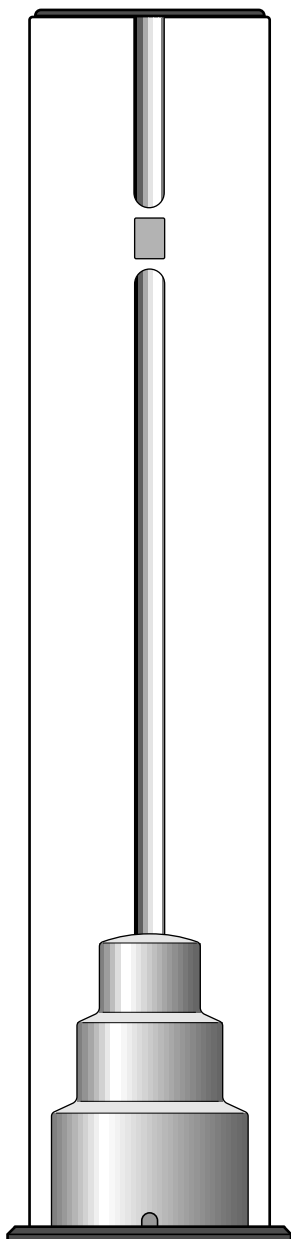


YAMAHA

音場支援システム

AAS-E100S

取扱説明書



！安全上のご注意 安全にお使いいただくため

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

- ⚠：注意(危険・警告を含む)を促す事項
- 🚫：決しておこなってはいけない禁止事項
- 🔒：必ずおこなっていただく強制事項







警告 この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置される時	
	<p>この機器はAC100V専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かずに重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることは、起こりがちなことです。十分にご注意ください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。</p> <p>内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、お買上げ販売店にご依頼ください。</p>
使用中に異常が発生したとき	
	<p>この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。</p> <p>この機器のACアウトレットが供給できる電力は300Wまでです。AAS-E100(S)以外のものを接続しないでください。他の機器を接続すると、火災の原因になります。</p>
	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときは、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、異常がおさまるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>内部に水などの異物が入った場合は、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>

この機器の設置にさいして、安全のために転倒防止を施してください。転倒防止工事が正しくなされなかったことによる事故などについては、当社はその責任を負いかねます。転倒防止策の具体例がこの説明書の本文9～10ページに記載されていますので参考にしてください。

⚠️ 注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	ご使用になるとき
 <p>調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p> <p>湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 <p>本体に抱きついたり、けとばしたりしないでください。</p>  <p>長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。火災の原因となることがあります。</p> <p><small>プラグをコンセントから抜く</small></p>
 <p>この機器は重いので、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。</p>	<h3 data-bbox="1027 551 1283 584">お手入れについて</h3>  <p>お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントからぬいてください。感電の原因となることがあります。</p>
 <p>機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p><small>プラグをコンセントから抜く</small></p>	

目次

1 AAS-E100Sとは？	5	3 操作	12
1-1. AAS-E100Sの仕組み	5	仕 様	13
1-2. 各部の名称と働き	6	寸法図	13
2 セットアップ	8	トラブルシューティング	14
2-1. 設置場所の設定	8	システム異常時のアナウンス機能	14
2-2. 設置工事	9	システム異常時のインジケータ表示	15
2-3. ケーブルの接続	10	ハウリングについて	15
2-4. 自動音場調整	10		
2-4-1. 自動音場調整が必要な時	11		
2-4-2. 自動音場調整の仕方	11		

はじめに

このたびはヤマハ音場支援システムAAS-E100Sをお買い求めいただきまして、誠に有難うございます。

AAS-E100Sの機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。

また、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書は以下のような構成になっております。

1. AAS-E100Sとは？

AAS-E100Sの仕組みと、ユニットおよびリモコン各部の名称、機能について説明しています。

2. セットアップ

AAS-E100Sの設置、ケーブル類の接続、そしてお客様のお部屋に合った響きを得るための自動音場調整について説明しています。



注意

本製品の固定設置工事には専門的な技術が必要とされますので、必ず販売店を通じて電気工事店などの専門業者に依頼してください。

また、工事の際には、業者の方にこの章の内容を確認していただくようお願いいたします。

3. 操作

AAS-E100Sの操作について説明しています。

1

AAS-E100Sとは？

設置する部屋の響きをまるでホールのように変える。楽器の音色や歌声を美しく響かせる。それが音場支援システム(Assisted Acoustic System)です。

AAS-E100Sはヤマハ独自の技術により、自動的に音場調整をして自然な音の響きを創造します。

1-1. AAS-E100Sの仕組み

AAS-E100Sは、4台でシステムが構成されます。

ユニット下部に埋め込まれた無指向性マイクが、部屋の中の音を広く收音します。

收音した音を、ヤマハが独自に開発したサウンドフィールドプロセッサー「SFP」で、響きを作り出します。

「SFP」には大ホールや小ホールといった空間の反射音パターンが記憶されており、求められる音響条件に応じて「響きの長さ」を決定します。

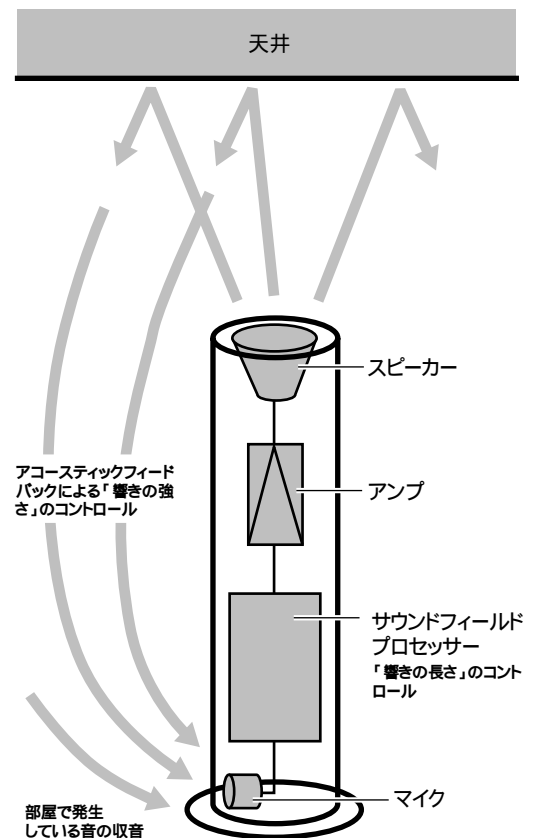
「SFP」によって作られた響きはアンプで増幅され、ユニット上部のスピーカーから出力されます。

出力された音は元々の部屋の響きを伴いながら、さらにマイクで收音され、同様の処理が繰り返され、音のループ状態(アコースティックフィードバック)が作り出されます。これが「響きの長さ」です。

「響きの長さ」は音楽のジャンルや形態に合わせて3パターン、「響きの長さ」は満席/空席等の状況に応じて2パターンをリモコンで選ぶことができます。

また、自然な響きを得るために、「SFP」内の反射音本数をよりきめ細かくするとともに、「反射音のゆらぎ」等の新方式を採用しました。

システム概念図



Q&A

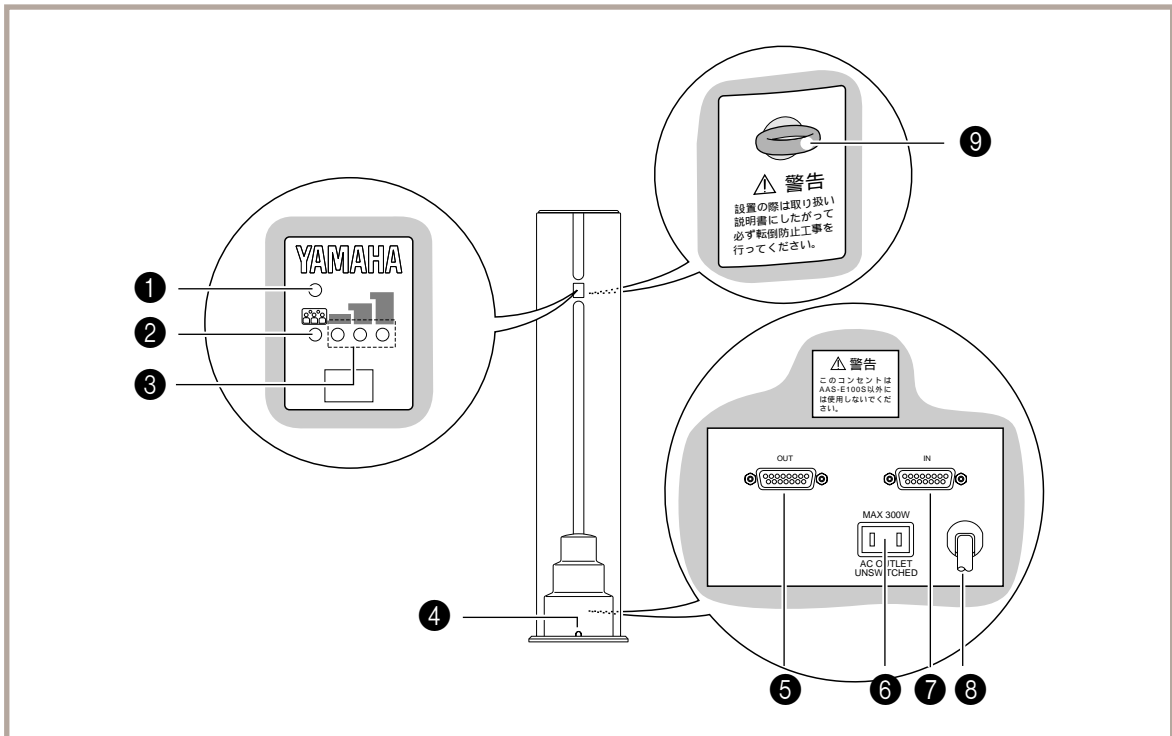
Q: 「響きの長さ」はどれくらい変えられるのですか？

A: その部屋が持っている響きに対して、最大で約3倍程度まで伸ばすことができます。使用目的に応じて響きの長さが異なる3パターンの選択ができます。選択は、リモコンからの簡単操作です。



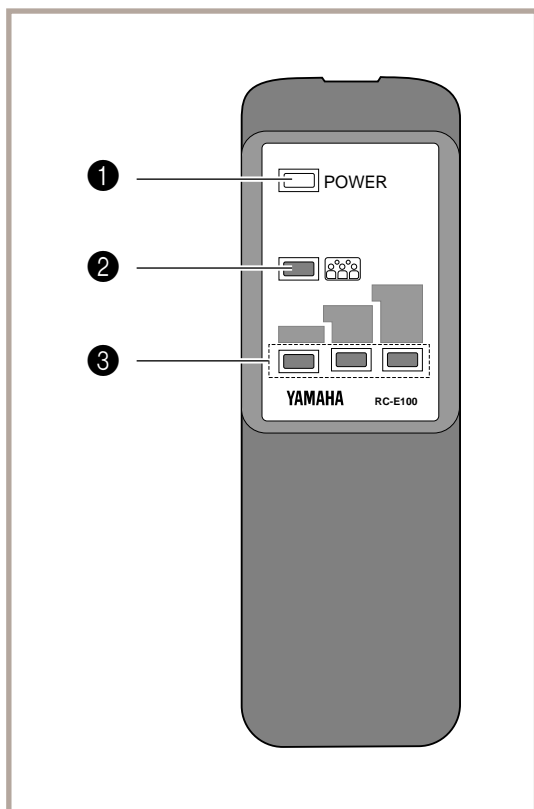
1-2. 各部の名称と働き

システムユニット



- ① **パワーインジケータ(赤)**
電源をオンにすると点灯し、オフにすると消灯します。
- ② **「響きの強さ」インジケータ(橙)**
響きが強い状態の時に点灯します。
- ③ **「響きの長さ」インジケータ(緑)**
響きの長さに応じて点灯します。また、システムの異常時に特定のパターンで点滅します。
- ④ **マイク**
部屋の中の音を收音します。
- ⑤ **通信用インターフェイス(OUT)**
付属の接続ケーブル(メス)をつなぎます。
- ⑥ **AC OUTLET(ACサービスコンセント)**
部屋に適切なコンセントが見当たらない場合、ここから電力を供給することができます。
このコンセントはAAS-E100S以外には使用しないでください。
- ⑦ **通信用インターフェイス(IN)**
付属の接続ケーブル(オス)を接続します。
- ⑧ **AC ケーブル**
電源ケーブルです。AC100Vのコンセントに接続します。
- ⑨ **転倒防止用フック**
付属のワイヤーで固定してください。(9ページ イラスト参照)

リモコン



① POWERスイッチ

電源をオン/オフします。

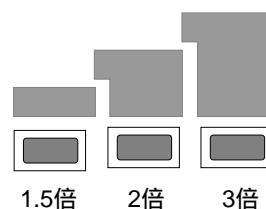
② 「響きの強さ」キー(🔊)

響きが不足する環境などで使用します。

③ 「響きの長さ」キー

響きの長さの調整に使用します。

右のキーほど響きの長さが長くなります。部屋固有の残響時間に対する響きの長さのおおよその比率は次のとおりです。



Q&A

Q: カラオケエコーや他の残響付加装置とどう違うのですか？

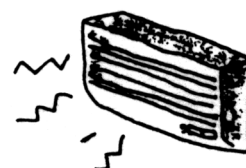
A: カラオケエコーや他の残響付加装置は、特定の音に対してエコーや残響を付ける装置です。ところが「AAS-E100S」は、部屋全体の響きを生かして豊かにする装置です。まるで部屋を改装したのと同じ様な効果となります。



Q&A

Q: 古いエアコンのノイズが気になるのですが？

A: AAS-E100Sは部屋全体の音響効果を高めます。音の大きいエアコンや外からの騒音もさらに大きくしてしまい、響きが分かりにくくなります。エアコンは「弱」で運転してください。



2 セットアップ

2-1. 設置場所の設定

バランス良く設置する

ユニットの背後に壁がないと効果が弱まります。室内の4隅にバランス良く設置します。

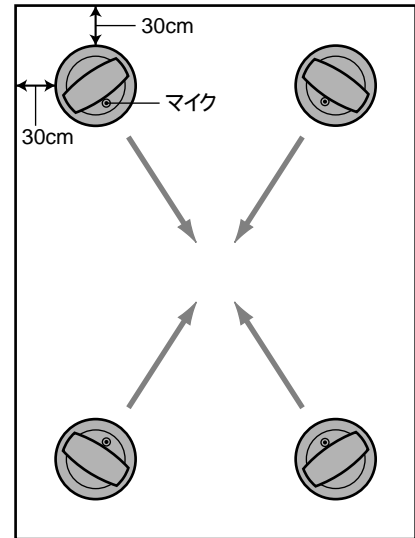
壁から30cm程度離す

ユニットは壁から30cm程度離して設置した方が、音質的には良い結果が得られます。

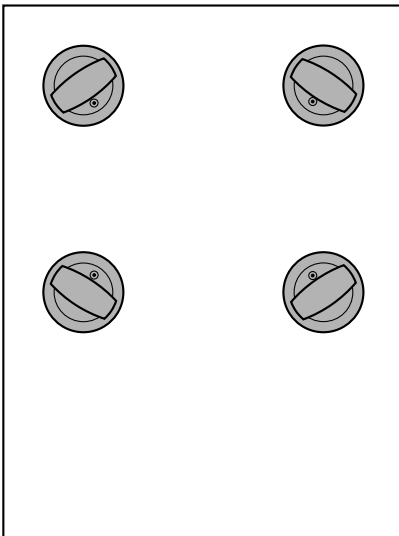
部屋の中心にマイクを向ける

設置角度はマイクの向きが部屋の中心点で交わるようにそれぞれ対角線上に向けます。

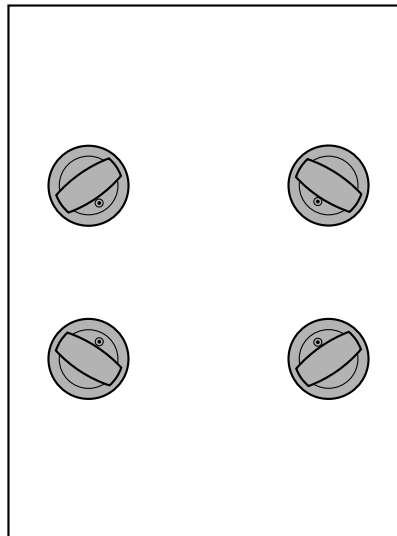
正しい設置位置(上から見た図)



効果のでない設置位置(上から見た図)



ユニットが片寄って配置されている



ユニットが壁から離れすぎている

⚠ 注意

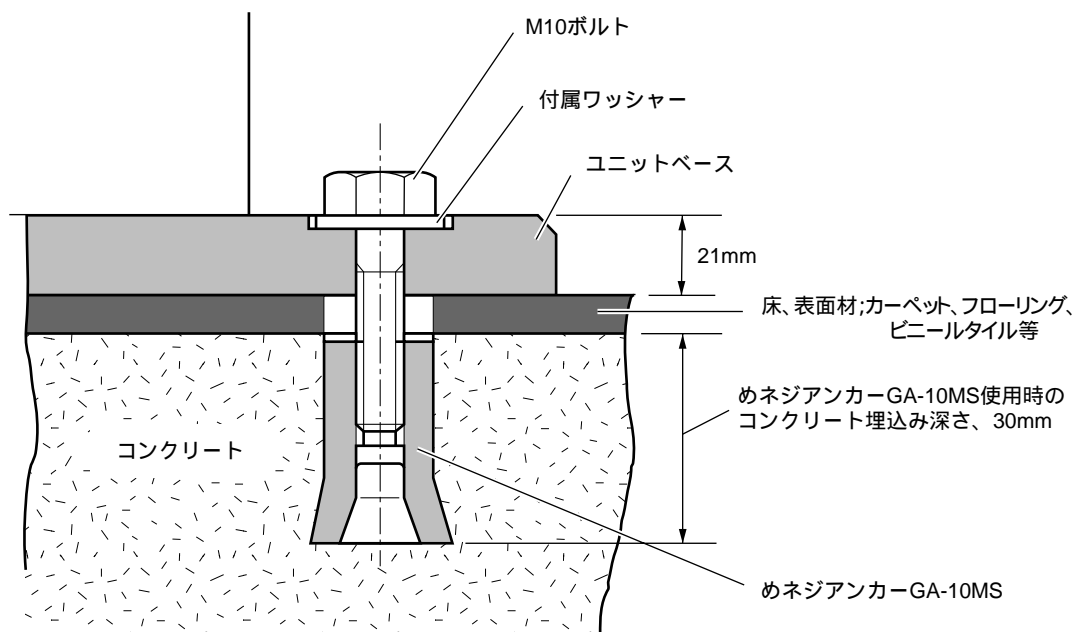
- マイクの前には、物を置かないようにしてください。
- ユニットの上部には、スピーカーがありますので、物を乗せないでください。
- 部屋の形などの関係で、ユニットの適切な設置場所が分かりにくい場合は、巻末に掲載されているお問い合わせ窓口までお気軽にご相談ください。

2-2. 設置工事

AAS-E100Sは**建物に固定する常設使用が基本**ですが、床下がコンクリートではない場合や、移動設備として利用する場合などには、いくつかの条件を満足できれば仮設で使用することもできます。その条件は安全を保障するためのもので、i)一時的な使用であること(=常設ではない) ii)転倒の危険性がきわめて小さな場所であること、iii)特定の人しか立ち入らない(立ち入れない)場所であること、の3つです。

仮設で使用できるかどうかの判断が難しいときには、お買上げ販売店にご相談ください。

- 1) **常設の設置工事**:下の図のような、本格的な工事が必要です。工事は必ずお買上げ販売店をつうじて電気工事店などの専門業者に依頼してください。



床の表面材質にかかわらず、コンクリートへ固定してください。

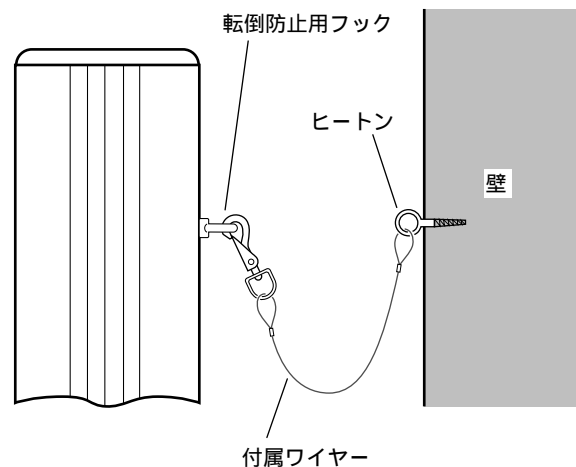
コンクリート用の「めネジアンカーGA-10MS」を打ち込み、M10ボルトにて固定します。

「めネジアンカーGA-10MS」使用時のコンクリート穴あけ径は、14.5、深さ30mmです。

M10ボルトの長さは床の表面材の厚みにより変わりますので、その都度適宜選択してください。

- 2) **仮設の設置工事**:右の図を参考に、付属のワイヤーでユニットの転倒防止用フックと壁とを結びます。ワイヤーは付属の転倒防止キットに入っています。

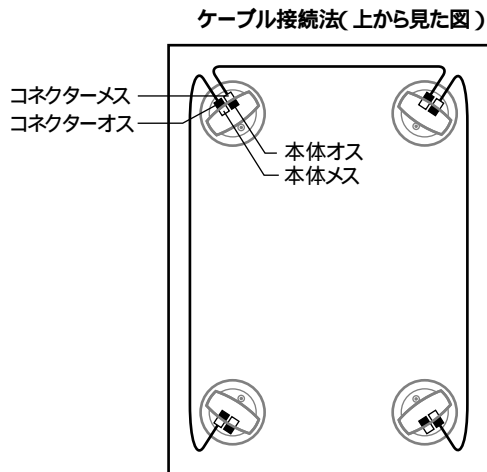
壁は100kg以上の荷重に耐えられる十分な強度のある箇所を選んでください。付属の転倒防止キットに入っているヒートンもご利用いただけます。



2-3. ケーブルの接続

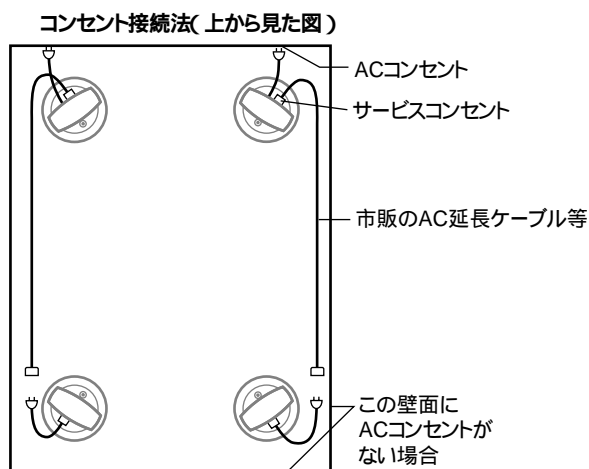
1) 接続ケーブルをつなぎます。

4本のユニット間を3本の接続ケーブル(付属)でつなぎます。この時、15ピンコネクタのオス/メスを良く確認し、ピンを破損しないよう注意してください。



2) ACケーブルをコンセントに接続します。

ACケーブルをAC100Vコンセントに接続します。部屋の4隅にACコンセントがない場合、ユニット裏パネルのAC OUTLET (ACサービスコンセント)が利用できます。



常設使用のときは、安全のために配線も固定してください。

仮設使用のときは、配線の固定が困難ですので、仮止めを施すなどの配慮が必要です。安全の疑わしい場所へは仮設しないでください。

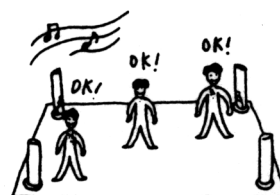
2-4. 自動音場調整

設置された部屋で最適な効果を出すためには、各部屋の音場特性を測定し、それに合わせてユニット内部を調整することが必要です。本機では、自動調整方式を採用しています。

Q&A

Q: 特定の場所で音を出さないと効果がでないのでは？

A: 部屋全体の響きを豊かにする装置ですから、部屋のどこで演奏しても歌っても効果は変わりません。まるで音楽ホールの中で音を出しているのと同じ効果が得られます。もちろん演奏を聴くほうについても同様です。



2-4-1. 自動音場調整が必要な時


以下のような状況のとき、自動音場調整を行ってください。

- 納入時
 - 同じ室内でシステムの位置を移動した時
 - 大規模な室内の改修後(壁やジュータンの貼り替え、家具の移動など)
 - システムを使用する部屋を変えた時
 - システム内蔵のバックアップ電池の交換後(お買上げ販売店にご相談ください。)
- * この製品は、自動音場調整で得た部屋の音響特性データを記憶する機能を持っています。記憶を保持するために、システムには電池が内蔵されていますが、電池が消耗して機能が低下してくると、電源を入れたさいに、電池の交換を要求するアナウンスが自動的に流れます。このようなときは、お買上げ販売店に電池の交換を依頼してください。(14ページ参照)。電池を交換すると記憶したデータは失われるので、もういちど自動音場調整をする必要があります。

2-4-2. 自動音場調整の仕方

- ① リモコンのPOWERスイッチ①を押して電源を入れます。
ユニットの電源のオン/オフはリモコンで行います。リモコンは4本のユニットのいずれかに向けてください。
電源が入るとユニットのパワーインジケータ(赤)が点灯します。それから約5秒経つと、つぎに進めます。

* つぎの手順は連続して行う必要がありますので、説明の太字の部分を一とおり全部読んでから操作を始めてください。

- ② リモコンのキー②()を押し、そのまま離さずにつぎのキー③を押します..[A] 両方のキーをいちど離してからキー③を3回押します..[B] キー③を最初に押してから、次に(3回)押し始めるまでの間隔(AからBまでの)は、3秒を超えないようにしてください。

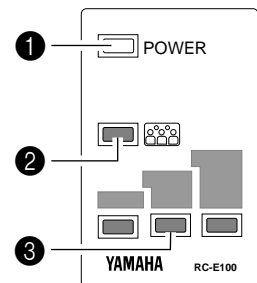
5秒後に4本のユニットが順に「ザーッ」というテスト音を出して、調整を開始します。テスト音が消え、点滅しているインジケータが点灯に変わると調整は完了です。調整には10分くらいかかりますが、その間はつぎの注意点を守ってください。

- 調整中は物音をたてないようにしてください。
- 調整時は部屋のドアや窓を必ず閉めてください。
- 調整時は部屋のカーテンを開けてください。
- 調整中はマイクの周囲1m以内に物を置いたり、近づいたりはいけません。

調整中に物音をたてないよう、テスト音が出る前に、別室に退避してもいいでしょう。

上記手順において誤操作があると、自動調整モードに入らずに、手順①が終わった状態、すなわちパワーオンの状態になります。そのときは、手順②からやり直してください。

使用する部屋を変えたり、室内を改修するなどしたあとで自動音場調整をすると、電源を入れただけで、ハウリングをおこすことがあります。これは音場の音響特性が大きく変わったために起きることで、異常ではありません。そのまま、手順②から自動音場調整を継続してください。



3 操作

AAS-E100Sの操作は全て付属のリモートコントローラー:RC-E100(リモコン)で行います。

1) 響きの長さの選択と効果のオン/オフ

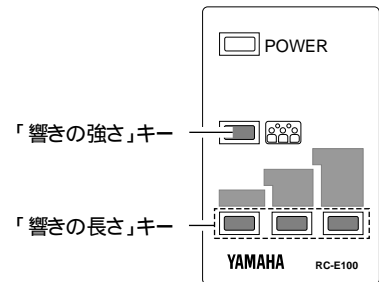
お好みの響きの長さを「響きの長さ」キーを押して選びます。ユニットのインジケータ(緑)が点灯します。

効果をオフにする場合は、現在選択されている「響きの長さ」キーをもう一度押します。効果がオフになり、ユニットのインジケータ(緑)が消灯します。



注意

POWERスイッチで効果のオン/オフをしないでください。
故障の原因となります。



2) 響きの強さの選択

響きの長さ選択終了後、室内の人数に応じて「響きの強さ」キーを押します。ユニットのインジケータ(橙)が点灯し、響きが強まります。もう一度、「響きの強さ」キーを押すとインジケータ(橙)が消灯し、響きが弱まります。

「響きの強さ」キーは例えば、人がたくさん入り、響きが弱くなったときなど、響きが不足したときに使用し、満席/空席状態に応じて響きの強さをコントロールします。

Q&A

Q: 部屋の天井が低いのですが、効果はありますか？

A: AAS-E100Sは、元の部屋の響きを利用してさらによい響きを作り出します。このため、その部屋の大きさや壁の材質等の特性に応じた効果が得られます。天井は高いほうが良い響きを得やすくなります。



Q&A

Q: 大音量や大編成での演奏は効果が分かりにくい？

A: AAS-E100Sはカラオケエコーや特定の音に残響付加する装置と異なり、響きの豊かな空間で音を出すのと同じ効果が得られます。そこで、大音量や大編成の演奏では音が大きい為、響きが分かりにくくなります。

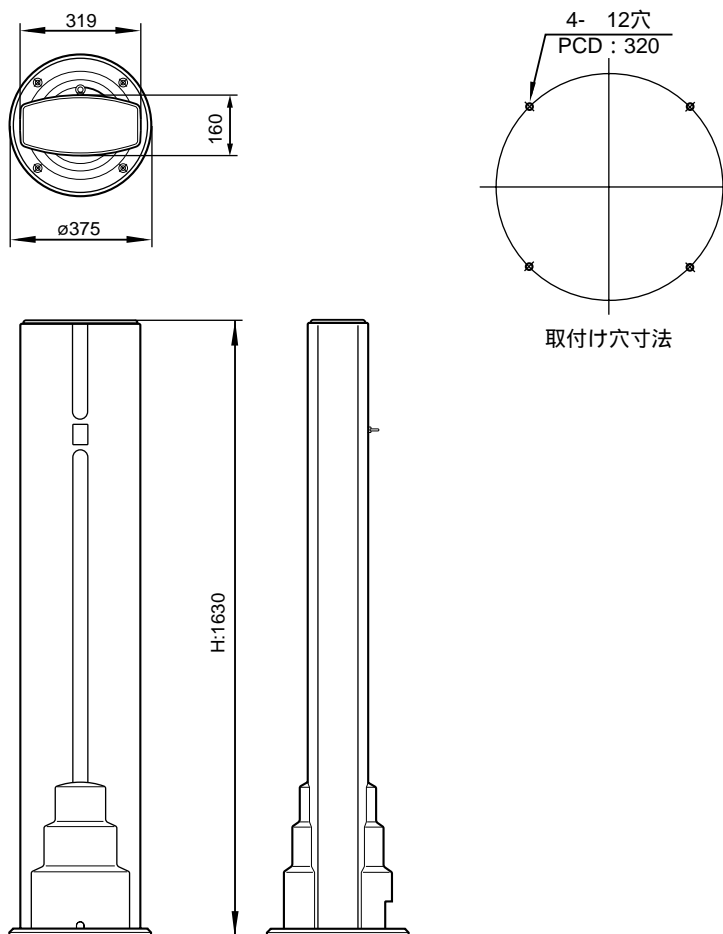


仕様

ユニット構成	マイクフォン、アンプ、スピーカー、システムコントロール部の一体型
ユニット間通信方式	デジタル伝送
システム構成	4台使用
システム対応面積	30m ² ~ 120m ²
最大外形寸法	(外径×高さ) 375×1630mm
重量	23kg(ユニット重量)
電源	100V・50/60Hz
消費電力	90W/1台
付属品	リモートコントローラー(RC-E100)×1、単三乾電池×2、 接続ケーブル(15m)×1、転倒防止キット

この製品は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。
仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



トラブルシューティング

故障かなと思うことがありましたら、次の点をお調べください。

それでも正しく動作しないときは、お買い求めの販売店または巻末のヤマハ電気音響サービス拠点にご相談ください。

現象	考えられる原因	対処方法
リモコンで操作できない。	本体の電源コードが抜けている。	電源コードの差し込みを調べてください。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。
「システムに異常があります。お調べください」のアナウンスが流れる。	規定の構成でAAS-E100Sが接続されていない。	システムの接続を確認してください。
	本体間の接続ケーブルの接触不良。	接続ケーブルが本体のコネクタに確実に差し込み固定されているか調べてください。
	電源の入っていない本体がある。	POWERスイッチのオン/オフおよび電源コードの差し込みを調べてください。
「本体の電池を交換してください。」のアナウンスが流れる。	本体システムのバックアップ電池が消耗した。	お買い上げ販売店へご相談ください。
ハウリングする。 (ブー、ピーなどの異様な連続音が出た時)	1. システムの位置が移動した。 2. 室内を大規模に改修した。 3. システムを使用する部屋を変えた。	自動音場調整を行ってください。

システム異常時のアナウンス機能

システムの接続および動作に支障がある時、アナウンス機能が起動します。

- 1) ユニット内部のデータが壊れている時
- 2) 規定の構成でAAS-E100Sが接続されていない時
- 3) 構成内に電源がOFFかあるいは接続部に異常があり、通信動作に支障がある時
- 4) ユニットシステムのバックアップ電池が消耗した時

上記のような状況の時、ユニットのLEDが点滅し、システムの異常を知らせる声の流れます。「システムに異常があります...」といった原因を特定しない単純な内容です。リモコンで電源をOFFにしてから接続部などの確認をしてください。

バックアップ電池が消耗した状態のとき電源を入れると、「ユニットの電池を交換してください。」のアナウンスが一度だけ流れます。

Q&A

Q: どのくらいの広さに対応できますか？

A: 30m² ~ 120m²の部屋に対応します。



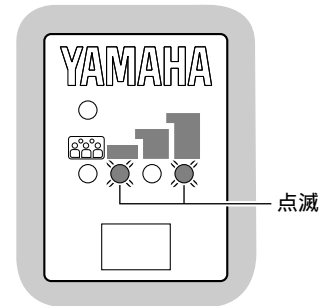
システム異常時のインジケータ表示

システムに関する故障、あるいはハウリングが検出された時、ユニットのインジケータは右図のように点滅します。

ハウリングについて

システムがハウリングを起こすと、4～5秒後に自動的に音が出なくなり、インジケータ(緑)が点滅します。いずれかの「響きの長さ」キーを一度押すと、システムは復帰しますが再びハウリングを起こすようならば、自動音場調整を行ってください。

それでも、ハウリングを起こすようならば、お買い求めの販売店または巻末記載のヤマハサービス窓口までご連絡ください。



サービスについて

保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、音響製品ではその最低保有期間は製造切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

お客様ご相談窓口

ヤマハ製品にかんするご質問・ご相談・あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

お客様ご相談窓口：管教育楽器に対するお問合せ窓口

国内楽器営業本部

北海道支店	☎ 011-512-6113	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50
仙台支店	☎ 022-222-6146	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10
関東支店	☎ 03-5488-1689	〒108	東京都港区高輪2-17-11
東京支店	☎ 03-5488-1672	〒108	東京都港区高輪2-17-11
名古屋支店	☎ 052-201-5166	〒460	名古屋市中区錦1-18-28
大阪支店	☎ 06-252-5341	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館
広島支店	☎ 082-244-3771	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18
九州支店	☎ 092-472-2155	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
管教育楽器営業部	☎ 053-460-2405	〒430	浜松市中沢町10-1

ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お持込み窓口

北海道サービスセンター	☎ 011-513-5036	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎ 022-236-0249	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 044-434-3100	〒211	川崎市中原区木月1184
東京サービスステーション (お持込み修理窓口)	☎ 03-5488-6625	〒108	東京都港区高輪2-17-11
浜松サービスセンター	☎ 053-465-6711	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-877-5262	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 0878-22-3045	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
広島サービスセンター	☎ 082-874-3787	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎ 092-472-2134	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎ 053-465-1158	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内

所在地・電話番号などは変更されることがあります。
1996年3月1日現在

ヤマハ株式会社

管教育楽器営業部 地域音楽事業営業課

☎ 053-460-2405

〒430 浜松市中沢町10-1